輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

２年ぶりの運動会！一つの壁をみんなで越えました。
－Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

いよいよ 11 月が始まりました。本当に時の流れの速さを感じます。今日は、七十二候でいう「**楓蔦黄（もみじつたきなり）**」です。文部省唱歌「紅葉（もみじ）」、「♪秋の夕日に照る山紅葉(やまもみじ)、濃(こ)いも薄いも数ある中に、松をいろどる楓(かえで)や蔦(つた)は、山のふもとの裾模様(すそもよう)。♫渓(たに)の流(ながれ)に散り浮く紅葉、波にゆられて離れて寄って、赤や黄色の色様々に、水の上にも織る錦。」多くの人が秋に口ずさむ歌ですね。美しい曲に、綺麗な詩に、鮮やかな風景が広がります。深まりゆく秋に、楓や蔦の葉が色づき始める頃です。

先日（10 月 30 日【日】）は、人数を制限させていただいた中で、運動会を開催しました。朝早くから保護者の方にご参観いただき、無事に令和３年度の運動会を実施することができました。本当にありがたく、嬉しく思っております。天候にも恵まれました。運動会前日は、風が大変激しく吹き、明日も風が吹いたら･･･と、当日を非常に心配しておりました。しかし、その心配をよそに、朝から抜けるような雲の無い青空が広がり、風もほとんどなく、少し汗ばむくらいの陽気となりました。正に 10 月の爽やかな秋晴れとなりました。天候も子供達を、中番小学校を応援してくれているかのようでした。今年は、午前中開催とし、演技内容は、競走・競争・表現を軸に、演技グループを、昨年までの１・２年の低学年、３・４年の中学年、５・６年の高学年の３つのグループを、１２３年の低学年グループと４５６年の高学年グループの２つとし、演技数も若干絞りました。また、演技順を、競走演技・表現演技・競争演技のグループにまとめ、その進行のスピディー化を図りました。その中で、**全員が最後まで参加すること、互いに見合うこと、勝負をすること、従来の運動会で残すべきところは大切にしたいと考えていました。**また、開会式でもお話させていただきましたが、**２学期、子供達には「本気」の姿を強く求めています。学習であれ、運動・スポーツであれ、生活の様々な場面であれ、自らが、一生懸命に、誠実に、真摯に、課題に向き合うことを求めています。**運動会は、その第２弾でした。子供達は、その期待に応え、本当によく頑張りました。競走演技では、１２３４年生は徒競走、５６年生は全員リレー。真っ直ぐに走ることが難しい１年生から、その走る姿が、よりダイナミックに、そのスピードが風を切るようになる６年生まで、その学年における成長を感じました。表現演技は美しさ。今回、本部席が児童席側に配置しましたので私は後方から子供達の姿を見ていました。正面の表情は、見ることはできませんでしたが、入場門での姿で、子供達の背中で、子供達のやる気を感じることができました。ですから、正面の表情は、輝いていたのではないでしょうか。競争演技は、運動会の定番「玉入れ」、「大玉」、大きな声で応援はできませんでしたが、運動会らしい情景が広がりました。本校の生活基盤である学年縦割りの「なかよし班」、その班対抗のなかよしリレー、微笑ましいものです。入場行進、開会式、閉会式、児童会を中心にした６年生の活躍の場であり正念場。運動会は、その学年に、割り振られた課題（仕事）があります。**そう、決して一人では何もできないのです。閉会式で話しましたが、「頑張った自分に、一緒に頑張った同じ組の人に、正々堂々と戦った相手の組の人に、演技の舞台を整えてくれた４５６年生の演技係・準備係の人に、誰よりもこの運動会の成功を願い、自分のことよりもみんなのことを考え、行動した６年生に」支えられてできたものなのです。**令和３年度運動会は、多くの成果を、この中番小学校にもたらしてくれました。

多くの行事は正に「**断崖絶壁**」です。**運動会という一つの壁をみんなで乗り越えられたこと、中番小学校職員一同、本当に嬉しく、ありがたく思っております。**保護者の皆様、地域の皆様、誠にありがとうございました。